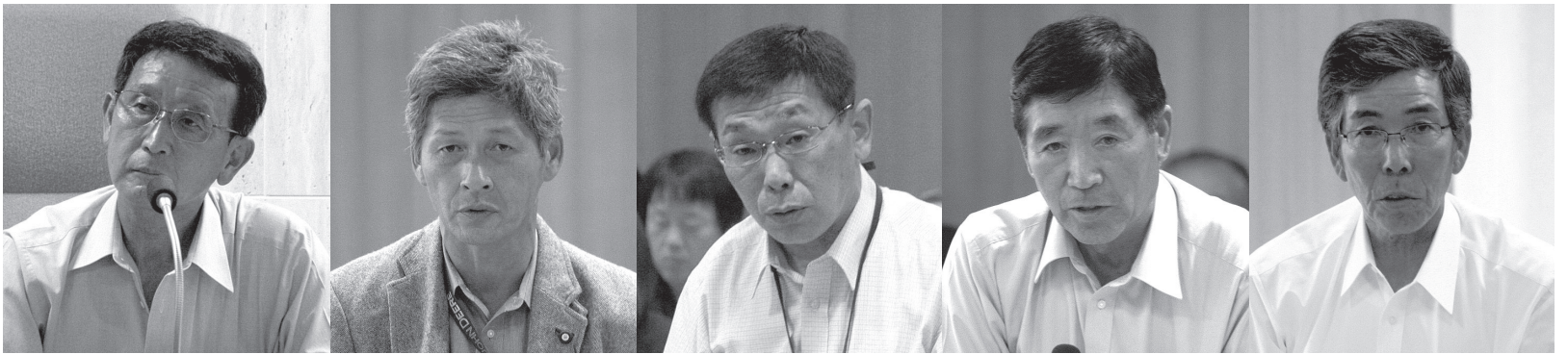


「輝く雪」のまち

ぬまた町

みんなの議会

2011年8月
第46号



主役は、傍聴席だ！ 行列のできる議会



////////// 主な内容 //////////

- 初議会・議会構成・議長就任挨拶… P 2～3
- 平成23年第2回定例会…………… P 4～5
- 一般質問…………… P 6～10
- 議会の動き 議員研修…………… P 10
- 議員セミナー…………… P 11
- みんなの広場…………… P 12
- あとがき…………… P 12

満員御礼！



▲6月23日の議会に、30席の傍聴席を大幅に上回る視線

議長に杉本氏を再選

副議長に津川氏・監査委員に渡辺氏

議長 杉本 邦雄
副議長 津川 均



総務民教常任委員会

委員長 高田 勲
副委員長 久保元宏
委員 中村保夫
委員 長原 誠
委員 津川 均

産建福祉常任委員会

委員長 絵内勝巳
副委員長 鵜野範之
委員 上野敏夫
委員 渡辺敏昭
委員 津川 均

この委員会は総務課・住民生活課・地域開発課・財政課・教育委員会の所管に関する事務調査及び議案・請願・陳情等の審査を行います。

今年度の所管事務調査は、『地域資源の活用について』としております。



この委員会は農業振興課・建設課・健康福祉課・和風園・旭寿園の所管に関する事務調査及び議案・請願・陳情等の審査を行います。

今年度の所管事務調査は『農地集積について』としております。



議会運営委員会

委員長 中村保夫
副委員長 長原 誠
委員 津川 均
委員 絵内勝巳
委員 高田 勲

この委員会は議会を効率的に且つスムーズに運営するために、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を持っています。

定例会や臨時会の日程や運営方法を決め、請願や陳情の付託委員会を決定します。

事務局長 菅原 秀史
事務局書記 川島 智



議長就任挨拶

沼田町議会議長 杉本 邦雄

町民の皆様におかれましては御健勝にてお過ごし
の事と推察し、心よりお喜び申し上げます。

この度の統一地方選挙後の初議会（5月13日）
に於いて、はからずも議長に推挙され再任を受け
ましたことは誠に光栄に存じます。

議員の皆様との全員野球を胸に、誠意を尽くし
て事にあたり、公正を旨として微力ながら職務に
精励する所存であります。

3月11日の東日本大震災、被災に遭われた地域
の皆様方には心からお悔やみ、お見舞い申し上げ
ます。

この大震災以降停滞していた日本の政治、政治
家の大局的な決断とリーダーシップが問われてい
ますが、国民に心を打つような目的、目標を示せ
ず更に具体的な政策も決められずにいます。今後
にわかに好転の動きが見られない状況にあること
は、誠に遺憾に感じ早期に国民の期待に応えてほ
しいものです。

自立する町として議会は報告会を開催し、国民
と直接対話の中で総合計画や財政推計、様々な課
題解決の為の意見交換会、議会でも議論や討論を
活性化し町民との情報共有、提供を積極的に進め、
開かれた議会へと努力してまいりたいと思ってい
ます。

今後とも町民皆様のご支援、ご指導賜ります様
お願い申し上げます議長就任の挨拶といたします。



一部事務組合議会議員など

沼田町 監査委員	渡辺敏昭	
水道企業団 議員	杉本邦雄	津川 均
学校給食議会 議員	中村保夫	久保元宏
消防組合議会 議員	上野敏夫	
衛生施設組合 議員	鵜野範之	
衛生センター組合 議員	長原 誠	
廃棄物処理広域連合 議員	高田 勲	
沼田開発公社取締役	津川 均	

沼田町議会議員会

会 長	上野敏夫
副 会 長	渡辺敏昭
理 事	長原 誠
理 事	鵜野範之
理 事	久保元宏

森林活性化議員連盟

会 長	絵内勝巳
副 会 長	鵜野範之
理 事	上野敏夫
理 事	渡辺敏昭
理 事	津川 均
監 事	中村保夫
事務局長	長原 誠

議会広報特別委員会

委 員 長	中村保夫
副委員長	長原 誠
委 員	鵜野範之
委 員	久保元宏



平成23年 第2回定例会 6月23・24日

上程された主な議案

◎二十二年一般会計予算
繰越明許費等に係る報告
二件

平成二十二年度中に一般
会計で執行できなかった、
きめ細やかな交付金事業等
八千三百八十万円余りを、
二十三年度へ繰り越す報告
がありました。

◎開発公社等の事業計画、
及び決算に関する報告二
件

「ほたる館」の指定管理
者である株式会社沼田開発
公社と、「自動車学校」指
定管理者である財団法人沼
田交通教育協会の、平成二
十二年度決算と二十三年度
事業計画が報告されました。

◎二十二年一般会計補正
予算に係る専決処分の承
認

二十二年度の不用額と、
地方交付税等の増額分を精
査し、財政調整基金に八千
万円、地域医療確保安定化
基金に五千万円積み立てた
事を承認いたしました。

◎第五次総合計画基本構想
の策定について

平成二十三年から三十年
までの八年間を基本構想と
する沼田町第五次基本構想
が提出されました。

人口減少推移の見直しや
町民、中学生アンケート等
の回答を基礎に、平成三十
年の目標人口を3,450
人とし、「持続可能なまち
づくり」に向けた基本構想
になっています。

◎条例の新設と改正

町外からの移住・定住の
促進、町民の生活向上を応
援する「沼田町移住定住応
援条例」と、高校生を持つ
保護者の経済的負担軽減を
図る「沼田町がんばる高校
生応援手当条例」の二件の
条例を新設、町税条例や国
民健康保険税条例等六件の
一部改正が行われました。

学校教育施設整備基金
は、小学校改築の特定財源
とするために、「小学校改
築整備基金」に、ほたる保
護条例は町内全域のほたる
の「幼虫」と成虫を保護す
る条例に改めました。

◎深川市へ消費生活相談等
の事務委託について

消費生活相談等を深川市
と近隣四町で事務の依託の
規約を交わしました。

◎一般会計補正予算

今年度は町長選挙の実施
今年であることから、骨格予算
で町政を執行していましたが、
新町長の選挙公約を取り
入れた政策予算を組み、
当初予算に、一億四千三百
二十五万一千円を加えて、
総額四十二億二千八百六二
十五万一千円とする補正予
算を承認しました。



町政執行方針を語る金平町長

政策的予算の概要

▽移住定住応援
新・旧住宅取得等トリホ
ームに助成します。同時に
四年間の継続事業とするた
め、三年分を基金化しまし
た。

▽高校生応援手当

高校生の三年間に一人当
たり月五千円を交付します。

▽高齢者世帯除雪助成

従来からの、玄関前除雪
に加え、屋根と窓の除雪費
用を助成します。

▽保育料の負担格差是正

沼田保育園の所得区分格
差を軽減するために、八階
層から十五階層にしました。
三十%軽減とあわせて助
成します。

▽地域提案型まちづくり

町内会のアイデア活動に
助成します。

▽公用車貸し出し事業

地域住民の公益活動を支
援するため、町の軽トラッ
クを貸し出します。

▽商業振興事業補助金

商店街への集客を、より
一層向上させる為に支援し
ます。

平成二十三年、春の統一
選挙後、初めての定例会が
六月二十三・二十四日の両
日開かれました。

金平町長の町政執行方
針、生沼教育長の教育行政
報告の後、九氏の一般質問
が行われました。

新町長の政策予算とも言
うべき、一般会計補正予算
では、小学校校舎予算の雪
冷熱利用と太陽光発電削除
について議会は「ノー」を
出し、町長の譲歩案を受け
て、予算削減を行う事に同
意しました。

▽農業新規参入推進事業

新たに農業への参入を希望する者に対して支援をします。(二名分)

▽行政姿勢の改善

町長交際費の削減、役場庁舎案内掲示、町長と意見交換がし易い様、町長室に相談室を設けます。

▽小矢部市との友好

姉妹都市提携十周年記念事業を行います。

▽役場庁舎耐震診断

災害対策本部機能がある役場庁舎の耐震化一次診断を行います。

▽企業誘致等推進事業

企業アンケート社数を拡大して活動を活性化します。

▽まちづくり活性化支援

「中心市街地活性化支援事業」と「ふるさと活性化支援事業」を統合して、店舗開設、商品開発、販路拡大、経営高度化などの一連に支援します。

▽緊急雇用創出事業

沼田町観光案内及び体験観光PRします。

▽医療機器整備事業

沼田厚生病院の心電計等、経年劣化している機器

の更新を町費で行います。

▽あんどん祭り記念事業

第三十五回夜高あんどん祭り記念事業を行います。

▽商工観光振興基金

基金条例に基づき、必要額を積み立てます。

▽地域資源活用補助金

商工会が主体となつて行う事業ですが、地元負担の一部を助成します。

▽環境整備事業

仲通り街灯省エネランプ交換や町道田畑線の歩道拡幅工事を行います。

◎特別会計補正予算

養護老人ホーム特別会計補正予算ほか四特別会計の補正予算を承認しました。

◎教育委員会委員の任命

教育委員の欠員と辞職に伴い、青木健治氏と小西克典氏の任命に同意しました。

◎人権擁護委員の推薦

任期満了による人権擁護委員に、平木恵子氏、横山哲雄氏の推薦に同意しました。

沼田小学校改築事業について

協議過程を報告いたします。

○五月十八日 全員協議会

今年度中の着工を目指して基本設計は変更しない旨の報告を町長より受ける。

○六月十日 定例会議案発送

雪冷房と太陽光発電を外すなどの他、小学校改築で約一億円の改築費の削減案が提示される。

○六月十七日 議会運営委員会

異例ではあるが、本会議上程前に小学校改築計画について、全員協議会にはかるとを決定。

○六月二十日 全員協議会

①沼田町の町政は雪との共存関係にある。
②雪の町沼田で、新たな小学校建設に雪冷熱利用を外すことは出来ない。
③大規模備蓄基地誘致などの雪冷熱利用構想に影響する。

④東北大震災後の電気事情や時代背景を考えると雪冷熱や太陽光発電を外すべきでない。
⑤子供の教育にかける金を惜しむべきではない。

これらの理由で、再検討がなければ、補正予算全体の否決も視野に入れて、再考するようにを町長に要求した。

○六月二十三日 全員協議会(本会議前)

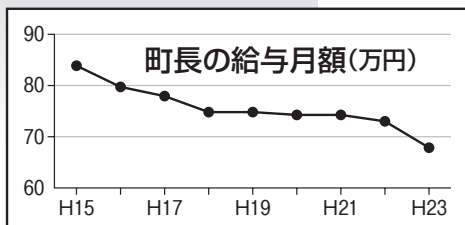
①雪冷熱利用は雪の保存方法と冷熱利用の仕方、冷房範囲を変更する。
②太陽光発電は教育的配慮の中で設置する。
③グラウンド整備の工法を変更する。
などの町長からの譲歩案を受けて、同日の本会議で補正予算案を可決承認した。

入札関連書類の縦覧作業



第4回 臨時議会 5月18日

町長、副町長及び教育委員長の給与に関する条例の一部の改正(減額)、副町長に神憲彦氏の選任、教育委員会委員に生沼篤司氏の任命を行いました。



第5回 臨時議会 7月22日

小学校改築及び学童保育所整備工事に係る請負契約で、談合疑惑の新聞報道がありました。議会としては、経過及び対処について説明を求めるとともに、関係書類の縦覧を求めました。これは、議会の重要な権利のひとつである「検査権」に基づく権利の行使です。

関係書類を議場で閲覧した結果、提出された書類では談合をうかがわせるものは無く、談合がもしもあった場合の誓約書も出させておりましたので、可決承認しました。

尚、電気工事は契約不調に終わりましたので、建築主体と機械設備工事の契約となりました。

町長への一般質問

問 沼田町の目指すべき方向を示せ

答 町民目線で行政を推進したい



中村 保夫
議員

問 町長に立候補した勇氣ある決断に敬意を表します。

町政執行方針を聞かせて頂きましたが、沼田町の目指すべき方向が見えませんがランドデザインを示して頂きたい。

また、七項目基本政策は今までの町政とどこがどう違うのか明らかにして頂きたい。

また、政策予算を作るにあたって、どのような「町民との対話と相互理解」を図ったのか。

更には、政策予算とは言いながら、予算の細切れパーゲンに見えます。「これが目玉政策」と言えるのはどれか。



「トップが代わらない限りは沼田町が変わらない」との思いから町長に出馬することを決断しました。

ランドデザインとしては、町民目線で行政を推進するために、町長室の開放をいたしました。是非気軽に來ていただいて色んな問題を話し合っただけで色んな意見を頂きたい。こういう



町長室の解放事業

たことの積み重ねを今後この四年間の中で常時行いたいと思っております。これが今後の色んな政策を決めていくのかなと思っております。

今までの政策とどう違うのかと言う事ですけれども、短い時間の中で十分な議論

問 小学校の雪冷房中止は、利雪路線からの撤退なのか

答 ランニングコストを抑えた中で、雪冷房を行いたい



高田 勲
議員

問 町長は町政執行方針で利雪の推進を唱えているが、小学校改築計画では、雪冷房と太陽光発電を中止する補正予算を提案しています。

エコスクール構想は、町民による検討委員会が提示したものです。町民との対話重視を公約に掲げた町長として、民意をどのように考えているのか。

平成十四年の「輝け雪の

が出来ませんでした。今住んでいる皆さんの生活を応援し大切にしようという思いで幾つかの政策を提案させて頂いております。

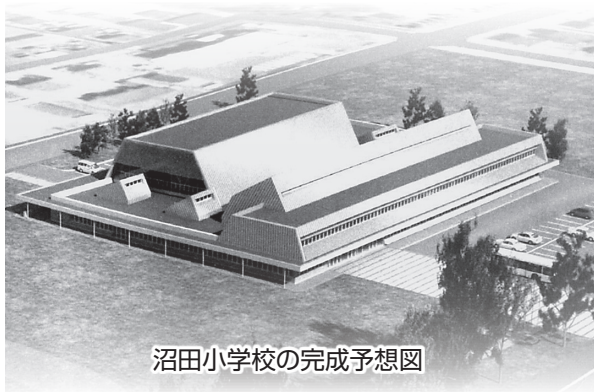
目玉ですけれども、皆さんの活動や生活を応援するというのが、一つの今回のテーマになっております。

町宣言」以来、町民が一丸となって雪を使つたまちづくりを進めて来ました。沼田町にとって利雪はまちづくりの一丁目一番地です。

国のエネルギー政策が見直されるのは確実です。小学校の雪冷房を予定通り実施して、今まで以上に利雪施策を推進すべきと考え、町長の考えを伺います。



「小学校の改築に、多くのお金をかけて大丈夫なのか」との声があるのも事実です。今後控えているハード事業を視野に入れてのご意見であると認識しています。



沼田小学校の完成予想図

改築費を削減して、一貫教育のための人員配置や備品の購入に充てるため、雪冷房と太陽光発電を中止する提案となりました。

教育的側面から考えたとき、エコ教育の重要性も理解いたします。ランニングコストが比較的にかからない空気循環式の雪冷房で実施したいと考えます。また、太陽光発電も児童が体感できる実験的なものを設置する方向で改築事業を進めてまいります。

利雪は過去二人の町長が取り組んできた重要な施策です。私も同様な考えを持っており、利雪に関しては従来どおり諸施策を実施してまいります。

問 町内にゴミステーションの設置を
答 町内会でまとめたいただければ設置は可能です



内 勝 己
議員

問 今回の選挙の際、町長、議員さんそれぞれ、ごみの問題をテーマとして挙げられたと思います。

今回のごみの回収方法については改善策が検討されていますが、毎日の生活の中で必ずごみがあります。

生ごみを出した時にカラス等に散らかされ、後の始末が大変な状態になると言う部分が聞かれます。

それらを考えたときに、ゴミステーションを作って貰えないか。

管理については町内会でおこなってもらう方法で設置出来ないか、見解を伺いたいと思います。

答 ごみステーションの設置に関しては、平成十四



ゴミステーション

年にごみステーション設置に関する取り扱ひ要領が定められております。

条件として行政区や町内会組織が自ら場所を決め管理する、それらを町と覚書を交わすとなっております。

設置の費用は町が負担します。いままで三行政区、六基で、九十二戸が利用していて、総額で三十五万九千円支出されております。

現在も要領は生きておりますので、町内会で希望がありましたら前向きに対応したいと思います。

問 遊休状態の旧中学校体育館等に活用できないか
答 跡地については今後検討していきたい



長 原 誠
議員

問 中学校移転に伴い、旧中学校体育館を他に活用出来ないか。一例として床部分を改修し野球、サッカー、ゲートボール、パークゴルフ等、土に触れ合うスポーツの練習場に活用できないか。また、旧高校職員住宅についても遊休状態ですので、活用できないか町長の見解をお聞きしたいと思います。

現在移転したばかりなので具体的な検討はしておりません。全て解体すると億単位のお金がかかります。体育館については耐震構造になっていないため安全上子供達のスポーツ施設には使用できません。改修には八千万以上の金額がかかり慎重に考えなければなりません。

現在移転したばかりなので具体的な検討はしておりません。全て解体すると億単位のお金がかかります。体育館については耐震構造になっていないため安全上子供達のスポーツ施設には使用できません。改修には八千万以上の金額がかかり慎重に考えなければなりません。

ればなりません。

グラウンドについては今後検討委員会などを設置して利用方法について検討していきたいと思ひます。

また、旧高校職員住宅の利用については、道の財産で、戸数は十一戸です。

無償譲渡の要望をだして現在道教委と協議中ですが、無償譲渡はありえないとのこと。現在、深川西高が管理しております。



遊休状態の旧高校教員住宅



遊休状態の旧中学校体育館

問 過疎化対策に、新たな視点でどう取り組むのか

答 沼田町第五次総合計画のなかで

具体的な実施計画を立てて行きたい



之 範 野 鶴 議員

問 沼田町においても急激に進む過疎化は大きな問題であります。

そこで、新たな視点からこの問題をどう取り組んでいくのか、企業誘致（雇用対策）、居住環境の整備などを含めて考えを伺いたい。



私も危機感がありますので何らかの事をしなければならぬと思っています。

何もしなければ、平成三十年には三千五百人から三千二百人という推計になっています。

これを食い止めるため、沼田第五次総合計画の『沼田町21ジャンプアップ作戦』で沼田町地域資源循環型成長戦略といったものを提案させていただいています。

これは地域資源を使って地域内の色んな宝物発見して、産業に結びつけて住みやすさを追求して、それから人口を増やしていく

プランを立てていますので、構想が決議後、具体的な実施計画を色んな方の意見を聞きながら立てて行きます。

具体的にですが、雇用対策として今後、役場職員を増やし雇用の場を増やしていきたい。

農業においても、農業の法人化による雇用の場となるわけで農業者それから農協とも協議して補助なり、育成も検討しながら実施計画の中に盛りこみ、具体的に過疎をどう防止するか整理をして取り組んでいきたいと思えます。

住環境の問題においては公営住宅の老朽化



本通り商店街

があり、リフォームしながら町全体の住宅をどうするかを再度それを見直しして検討して行きたいと思えます。子育て問題も若い親御さんが安心して子供を育てられるように、学校・保育園など、を早急に方向性を見出して行きたいと思えます。

問 防災対策の見直しが必要ではないか

答 ハザードマップや防災計画の見直しを検討したい



昭 敏 渡 議員

問 東日本大震災以後各地で、ある程度の想定外にも対応できる様、防災対策の再検討が行われています。

沼田町も過去には直下型地震や大水害の被害を受けています。防災計画の見直しや防災備蓄は大丈夫なのか伺います。



役場庁舎の耐震診断が行われます

沼田町の地域防災計画は、平成十九年に見直しを行って現在に至っていますが、今回の大震災を教訓に本町も見直しが必要と考えています。

内容については内部で検討中ですが、まず、防災有事の時に拠点となる役場本庁舎が耐震化されていませんで、今年度耐震一次診断を、来年度二次診断を行い、その結果で耐震化工事を検討したいと考えています。

又、防災無線の更新を、防衛省と二十四年度中の事業着手に向けて検討中です。町関連施設については、防災計画見直しで、耐震化促進計画を作っています。ハザードマップについては、防災備蓄も含めて見直しが必要と考えていますし、飲料水については、他の地区からの給水が出来る様、水道企業団の中で防災協定を結んでいます。

問「萌の丘」の整備をやめ、

無駄な経費をpushするべきだ

答 最低限度の維持への縮小を視野に入れて、検討する



上野 敏夫
議員

問 NHK連続テレビ小説『すずらん』のロケに使われた北竜二地区の「萌の丘」には、沼田町の観光資源として植えられたルピナスの花が一面に咲いていました。しかし私が五月中旬に確認に行ったところ、ほとんどタンポポ畑と違っていい状態であり、昨日の確認では、もはやルピナスは壊滅状態です。

再び観光客に「さすが沼田町のルピナスは、きれいだね。」と言っていただけでは、さらに相当の予算を投資せねばならないと思います。今まで、いくら投資してきたのか。さらにまだ投資するのか。今後の投資と整備の方法についての町長の考えを伺います。



二〇〇〇年からルピナスを植えて

その後三回植え、土壌改良も行いました。二〇〇八年に二トリからいただいた桜の植栽の補助も含めると、



ルピナスが消えた「萌の丘」
2011年7月22日、撮影

問「ごはん給食」を学校に導入する検討委員会を、一学期中に設置するか

答 はい。検討委員会を設置して、今年九月までに一定の方向を出す



久保 元宏
議員

問 ごはん給食にかかわらず、町民から要望書が出ましたら必ず効果的な

総額で四千七百六十万円を投資しています。今後は全体的な事業の縮小を視野に入れて、最低限度の維持にするしか方法はないと私は判断しています。ただ毎月五の付く日に「萌の丘」ウオークをしているグループもありますし、何もしないわけにはいきませぬので、検討させていただきます。

メンバーで構成する検討委員会を作っていたきたい。つまり要望書↓検討委員会↓報告書、これらはワン・セットです。そして、できれば実行。
ところが要望書の段階でストップしている。そこが

沼田町が「協働の町づくり」

に大きく踏み込めない原因です。町長が何度もおっしゃってくる「町民との対話による相互理解」実現を

こぼむひとつのネックがここではないでしょうか。今まで町民に「どうせ役場に言ってもムダだ。」という意識があったとすれば、たとえば、ずいぶん前に東西一町内から旧・中学校の跡地利用の要望書が出されても、実は役場は検討もしなかった、とか、最近のガの駆除の要望への対応などが原因だと思えます。先輩議員の言葉を借りれば、「金平町長は勇気を持って立候補された。」のは、そこを打破して、町民目線の町政を作ることだと私は理解しています。

では、数々の町民からの要望書を受けて、ごはん給食の検討委員会を、一学期中に設置いたしますか？



はい。九月までに一定の方向を出します。久保議員が言うように政治には「スピード感」が大事ですから、現在は給

食で冷たいご飯を食べている沼田町の子どもたちが、今年の秋から温かいごはんが食べられればいいなあと思っています。

私は二〇〇二年から給食センターの次長をやりました。その間も保護者から同じ希望を聞いていましたし、要望書も二〇〇七年にPTAから、二〇〇九年に農業女性団体「農天氣の会」からいただいたいます。おいしい沼田のお米を、温かいごはん子どもたちに提供する。本当に素晴らしいことです。

教育長

ごはん給食だけでも、今までのような形で町民からご提案をいただいています。しかし、なかなかそのつど、十分に具体的な形をとれなかった。それはそれなりの事情が当時はあったのでしよう。今回は久保議員からごはん給食の実施方法として色々な具体的な提案もいただいていますので、それもしっかり踏まえて、今年秋までに検討したいと思えます。

問 人口四〇〇〇人復活プロジェクトを継続して取り組むのか

答 今の人口三六〇〇人を大切に考える



津川 均 議員

問 人口四〇〇〇人復活プロジェクトは昨年出てきた事業で、人口減少の歯止めをかけようといった守りの姿勢から、四〇〇〇人復活と言う言葉で攻めに転じたもので、議会でも評価しました。

ぜひこれを続けていただきたいと考えますが、このネーミングが無くなったわけだが、どう悪いのか説明願いたい。



人口増加に関しては否定するものではありません。ただ基本的に今の人口三六〇〇人、住んでる人を大切にしたい。豊かな暮らし、安心



沼田町議会 副議長 津川 均

できる暮らしをまず住民に提供したい。その事によって沼田町がこんなことをやってるんだと、そこで安心して住入れてもらいたい。それから、全て前向きな政策も必要かと思えますけれども、私はこの四年間はとりあえず色んな事業を見なおしながらでも、根本的に今住んでいる町民を大切に、本当に沼田を好きになって住み続けていただきたい。それをやることによって次の人口増加に繋がるのではないかと考えています。四〇〇〇人に関しては、スローガン的には降ろしましたが、人口増加ははかっています。

新任町村議会 議員研修

七月一三日札幌市の水産ビルにおいて北海道町村議会新任議員研修会が開催され、当町の議会からも長原議員、鶴野議員、久保議員が参加しました。

講師に北海道町村議会議長会の事務局長である勢篭了三氏により議会運営の基盤となる事柄のレクチャーをうけてまいりました。

空知町村会 議員研修

空知町村議会議員研修会六月二十九日、妹背牛町「妹背牛町民会館」において空知管内町村議会議員研修会が開催されました。

学校法人酪農学園理事長（元副知事）である麻田信二氏により「東日本大震災からこれからの社会を考える」という演題で講演をうけました。

デンマークでは現在食料自給率・約三〇〇％（日本約四〇％）、風力・バイオエネルギー自給率・約一五〇％（日本約四％）、国民一人当たりGDP・六万二千ドル（日本三万八千ドル）を基に今後の復興の展望について等が講演内容でした。

道町村議会 議員研修

札幌コンベンションセンターで議員研修があり、全議員が参加しました。

前段は東京大学教授の御厨（みくりや）貴氏が、「今後の政党政治の行方」と題し、菅総理の辞任表明に始まった現在の政治混乱を解説されました。

後段は「今後の日本経済展望」と題し、経済評論家の内橋克人氏が、東日本大震災後の経済の行方についての講演をされました。



議会の動き

議員セミナーを開催

六月十三日

五月一日から始まった新体制のもと、初めての議員セミナーが開催されました。セミナーは総民・産建の両常任委員会の共催で実施され、議員の見識を高めることを目的として一年間に数回実施されます。今回は行政視察を行いました。

●北空知衛生センター

私たちが日常排出しているごみを処分している、深川市にある衛生センターとリサイクルプラザを視察いたしました。

「燃えるごみ」は歌志内に



圧縮された燃えるごみは、大型トラックで歌志内に

市にある焼却施設に運ばれますが、運搬効率を高めるため四分の一度に圧縮されてから運搬されます。

「生ごみ」は細かく破碎した後、バイオガスを発生させています。ガスを使って発電した電気は施設の動力に利用されています。

「資源ごみ」と「不燃ごみ」「粗大ごみ」はリサイクルプラザで手作業によりさらに細かく分別され、再生や再利用が可能なものは売却されます。



北空知のごみ減量化を一手に担っているリサイクルプラザ

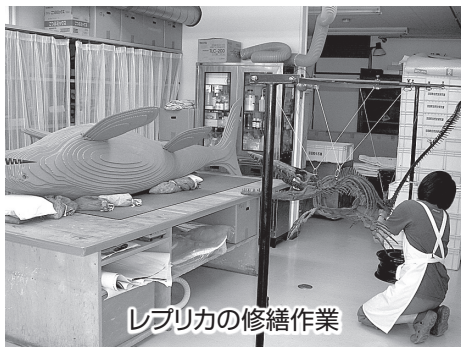
最終的に残った「不燃ごみ」は妹背牛町にある処分場に埋め立て処理をします。処分場の受入限界が近づいているため、埋め立てごみの減量化は重要な課題です。ごみの最終処理にも莫大なコストがかかっていることを再認識いたしました。八月よりごみの収集方法が変わりましたが、分別方法は従来通りです。面倒かも知れませんが、限りある資源を有効に使い環境を保全するためには、住民である皆様の協力が不可欠な時代になっています。

●化石体験館

ほたる館の道路向かいにある化石体験館には、沼田町で産出した化石のレプリカ等が、ところ狭しに展示されています。

開設してから三年が経過しましたが、入館者数も確実に増えてきています。特に川床へ出向いての発掘は、体験学習としての人気が高まり、修学旅行の団体を呼び込むほどです。

まだご覧になっていない方は、一度見学してみたいかがでしょうか。町民の方は入場料が無料です。



レプリカの修繕作業

●化石レプリカ工房

厚生病院の向かいにあるレプリカ工房は、国内でも



農産加工場での説明の様子

めずらしい古代生物の復元骨格を作成する技術を備えた施設です。クオリティの高い作業が行われており、夏の特別展に向けての準備が行われていました。

●農産加工場

経営改善に取り組んでいる農産加工場には、国の緊急雇用創出事業を利用して高度人材と呼ばれる臨時職員が二名配置されています。製造工程における生産性の向上や品質管理、商品の販路拡大が主な業務です。

八月の繁忙期を控えて、今年度における生産と販売の基本的考え方についての説明を受けました。

議会広報特別委員会

場守前議
員に深甚
なる敬意

五月の第三回臨時会で、

新しい議会広報特別委員会
が構成されました。

創刊以来十一年間にわた
って委員長を務められた橋

と感謝を申し上げます。

沼田町議会広報の特徴

は、①議員自らが執筆・構
成を行う②小学校五年生が

理解できる紙面③速報性よ

りも記録性を重視する、で
す。

今後もこの原則を基本と
しながらも、大胆な変貌を

とげて、町民に解りやすく、
親しみやすい『みんなの議

会』を作っていくたいと決
意を新たにしています。

町民の皆さんも是非とも
ご意見をお寄せ下さい。

尚、広報委員に新人議員
が多いことから、今号と次

号に限り、前回まで広報委
員であった高田・渡辺両氏

にサポートをお願いしてお
ります。

あとがき

東日本大震災はあまりに
も多くの犠牲をもたらしま
した。

想定外の揺れと想定外の
津波は、私達の心をも動か
しました。

法律や条例は想定外のこ
とを想定していません。

それでは、どのくらいの
ことを想定して準備すれば
いいのか。

例えば、耐用年数五十年
の学校を造る時に、千年に
一度の災害を想定すれば、
おそらく建設費は百億円を
超えるでしょう。

しかしその千年に一度が
明日かも知れないのです。

千年に一度の津波に襲わ
れた「福島原発事故は政治
的犯罪」なのかじっくりと
冷静に考えてみる必要があ
りそうです。

広報特別委員

中村保夫 長原 誠
鵜野範之 久保元宏

みんなの広場

「雪夏祭」チームゆきものがかり

実行委員長 山田 昌希



昨年 私達、商工会の声かけで様々な職種の青年達が集まりチーム「ゆきものがかり」を結成。地域資源∞全国展開事業で新たな町おこしに取り組んでいます。

今や沼田町の宝となった雪をテーマに、雪と共生する町として様々な企画を実施しました。

- ◎雪だるまをかたどった、かわいい鯛焼き風の「雪んこ農場の雪んこ焼き」。
- ◎雪中米ファンクラブと料飲店組合とのコラボレーションで雪中米を使った雪中米丼フェア。
- ◎真夏にダンプ約70台分の雪を使って開催しスノーボー大会「雪夏祭」。今年も、真夏のスノーボー大会「雪夏祭」を開催致します。

今年の雪夏祭は8月6日(土)・7日(日)です。同時開催として「雪合戦大会」「スノーボー・スキーJIB大会」、「SNOW CAFÉ」にてイタリアンシェフ鳥谷部拓彰氏を招いて地元食材を使った美味しい食も用意しております。

沼田町の発展のため「ゆきものがかり」は商工会・JA・役場等の人達が職域・年齢を超えた新しいチームとして、これからも一丸となれるよう努力し又、微力ながら支えになれるよう一生懸命頑張りますので、町民皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

是非、会場にお越し下さい。お待ちしております。

